



羽田空港D滑走路（東京都大田区）  
写真提供：羽田再拡張D滑走路JV

第61期

# 中間期 株主通信

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに平成22年4月1日から平成22年9月30日までの平成22年度（第61期）第2四半期の事業概況ならびに今後の見通しにつきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

# 村重 芳雄

### Q 経営環境について お聞かせください。

A 平成22年度第2四半期の日本経済は、工コ関連など経済対策による持ち直しの動きがみられましたが、個人消費は弱く、緩やかなデフレが続いています。また企業収益は円高等の影響が懸念されるなど、回復に向けた動きが足踏み状態となっています。

建設業界においても、公共投資では、国の予算の大幅減少をはじめ、地方でも単独事業費が減少しており、総じて低調に推移しています。また、住宅投資は、首都圏では持ち直しの動きがみられますが、回復までには時間がかかる状況です。民間設備投資は、企業収益の改善にともない、設備投資計画は増加の環境にあります。先行きへの慎重な見方から、緩やかな回復にとどまっています。一方、海外は当社グループの主要市場である東南アジアにおいて、内需を中心に景気は順調に回復しており、社会インフラ整備を中心に建設需要が堅調でした。

### Q 第2四半期の連結業績について お聞かせください。

A 売上高は、海外工事の順調な進捗により、当初予想から増加しましたが、前年同期比8.9%減少し1,430億円となりました。営業利益は、完成工事総利益率の改善および一般管

理費の削減などにより、28億円（前年同期15億円）となりました。また、営業利益の増加にともない、経常利益は15億円（前年同期経常損失31億円）、四半期純利益は6億円（前期四半期純損失1億円）といずれも黒字となりました。

## Q 今後の見通しについて お聞かせください。

A 国内では、国際競争力強化を目的としたスーパー中樞港湾の整備など、当社グループの強みを活かせる分野に公共事業の予算が確保されています。また海外でも、東南アジアの景気拡大傾向は続くと考えられ、インフラ整備への投資は引き続き堅調に行われる見通しです。

連結ベースの業績見通しは、売上高3,145億円（当初予想3,100億円）、営業利益110億円、経常利益75億円、当期純利益23億円であり、各利益は平成22年5月に発表しました当初予想か

ら変更はありません。

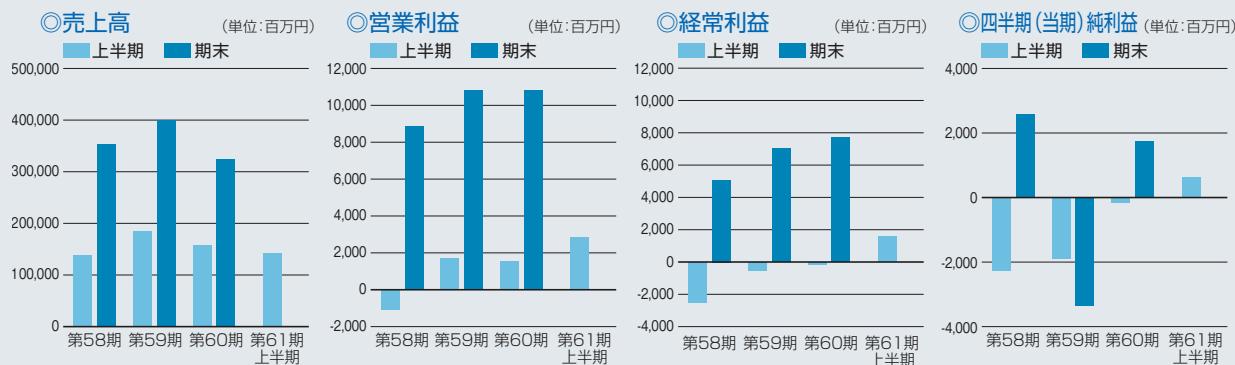
個別の建設受注高は、国内土木1,100億円（当初通り）、国内建築900億円（当初1,000億円）、海外600億円（当初通り）、建設受注高合計2,600億円（当初予想2,700億円）に修正いたします。

個別業績は、国内土木がおおむね順調に推移する一方、国内建築は受注の減少などにより減収減益、また海外は手持工事の進捗が当初予想を上回り増収増益となり、全体では売上高は増加、各利益は当初予想通りの見通しです。

また、前期に引き続き1株当たり2円の配当（期末）を予定しており、目標達成に向けて、引き続き役員全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【連結業績の推移】



## 土木部門 羽田空港D滑走路 完成

国内最大級プロジェクト、羽田空港D滑走路建設工事が、2010年8月30日に無事竣工を迎えました。

本プロジェクトで建設されたD滑走路は、護岸で仕切った後に埋め立てる埋立部と、多摩川河口部の通水性を確保する栈橋部から構成される、国内初の複合構造（ハイブリッド構造）の滑走路です。当社は、護岸・埋立工区（I）と連絡誘導路工区を担当しました。（写真参照）

2005年3月の着工以来、24時間体制で施工しました。航空機の安全な離発着確保のため、厳しい制限の下での施工でしたが、関係各署、他工区との調整を重ね、無事に工事を完成させることができました。

D滑走路完成により、羽田空港の発着能力は大幅に増強されます。これにより、国内線の増便、国際線定期便の受け入れなど、利便性の向上が期待されています。

### 【完成までの変遷（写真提供：羽田再拡張D滑走路JV）】



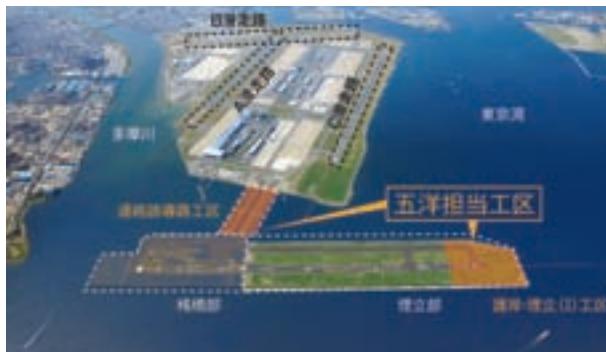
2008年10月29日 撮影



2009年4月27日 撮影



2010年3月30日 撮影



2010年9月2日 撮影

## 深層混合処理船「ポコム12号」完成

「培われた伝統と最新技術の融合」を目指して建造を進めていた深層混合処理船（CDM船）「ポコム12号」が完成しました。

ワンマンコントロールの実現など、過去の施工実績から得た教訓に基づき改善を加え、太陽光および風力発電の採用など、安全、環境にも配慮しています。今後は全国の海面処分場における護岸基礎工事などで活躍する予定です。



## 建築部門 大規模リニューアル工事 完成



### 【施設名称：神戸ハーバーランド温泉 万葉倶楽部】

神戸市ハーバーランド地区の「プロメナ神戸」内に、ビルのコンバージョン（用途転換）による大型温泉、宿泊施設が完成しました。施工中は、ビルの半数の階が営業中であったため、安全、防災計画に新築計画以上の配慮を要しましたが、関係各署と適切な連携をとりながら、無事に完成させることができました。

立地が良く利便性が高いため、会議、研修会等に利用できるだけでなく、会社帰り、家族連れが近場で憩いの場を満喫できる施設として注目されています。

既存建物の形状、構造を最大限に活用し、異なる用途の施設にコンバージョンする工法は、既存ストックの活用に向けた取り組みとして、今後も多くの需要が見込まれます。

#### ■工事概要

- コンバージョン部分：全18階のうち 7階～16階
- 既存施設用途（コンバージョン部分）
  - 物販店舗、スポーツクラブ、事務所、クリニック
- コンバージョン後の用途
  - 飲食店、遊技施設、温浴施設、宿泊施設

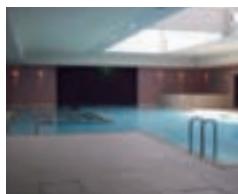
#### ■コンバージョン施工例



旧 事務所



コンバージョン後《客室》



旧 スポーツクラブ



コンバージョン後《浴室》

## 国際部門 シンガポール大型複合施設 完成

### 【施設名称：アイオンオーチャード・オーチャードレジデンス】

大型再開発事業「オーチャード・ターン・プロジェクト」の施工は、シンガポールで最も賑やかな高級ショッピングエリア、オーチャード・ロードで進められ、2010年8月、地下鉄MRT利用者や歩行者にとっても利便性の高い施設として完成しました。

ショッピングモールの外観は、曲線を描いたメタリックなガラス張りで、夜になると光をまとったメディアスクリーンに変身します。高級感と斬新さから、すでにオーチャード・ロードのランドマークとなり、大きな人気を集めています。



### ■工事概要

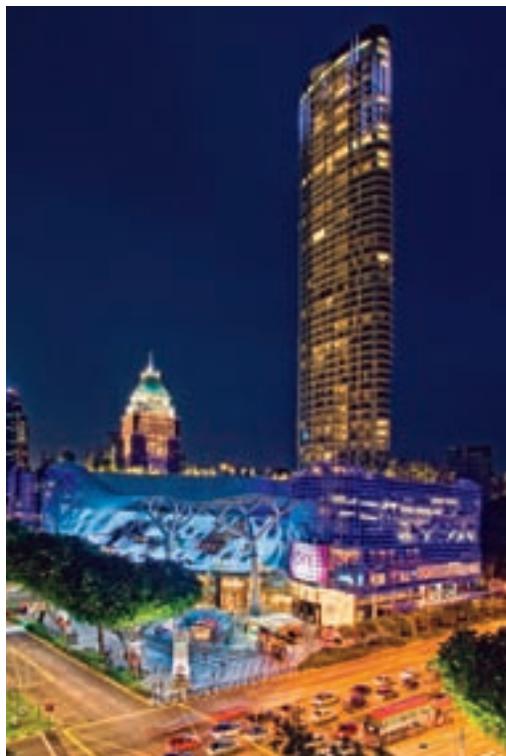
#### □発注者・工事管理：

オーチャードターンディベロップメント  
(キャピタランド、サンフンカイプロパ  
ティーズ（香港）の共同出資)

□敷地面積 : 22,000m<sup>2</sup>

□施工床面積 : 201,000m<sup>2</sup>

□階数・高さ : 地上56階 (218m)



## ●四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成22年9月30日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)	科 目	当第2四半期末 (平成22年9月30日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>	<b>287,867</b>	<b>294,245</b>	<b>(負債の部)</b>	<b>233,764</b>	<b>239,780</b>
1 流動資産	201,012	210,982	流動負債	189,705	198,842
現金預金	62,791	56,438	支払手形・工事未払金等	78,950	92,630
受取手形・完成工事未収入金等	86,838	101,618	短期借入金	55,132	53,680
有価証券	1	29	未払法人税等	864	568
未成工事支出金等	15,328	14,029	未成工事受入金等	32,324	25,345
たな卸不動産	15,604	15,829	引当金	2,727	4,515
未収入金	13,172	15,005	その他	19,705	22,102
その他	8,533	9,301	固定負債	44,058	40,937
貸倒引当金	△1,259	△1,270	長期借入金	35,334	32,159
固定資産	86,854	83,262	再評価に係る繰延税金負債	7,156	7,156
有形固定資産	59,563	57,005	引当金	463	558
土地	39,244	35,069	その他	1,103	1,063
その他(純額)	20,318	21,936	<b>(純資産の部)</b>	<b>54,102</b>	<b>54,465</b>
無形固定資産	575	501	株主資本	50,320	50,184
投資その他の資産	26,715	25,756	資本金	28,070	28,070
投資有価証券	7,236	7,478	資本剰余金	16,007	16,007
その他	27,074	25,839	利益剰余金	6,265	6,129
貸倒引当金	△7,594	△7,561	自己株式	△22	△22
資産合計	287,867	294,245	評価・換算差額等	3,781	4,251
			その他有価証券評価差額金	△209	247
			繰延ヘッジ損益	△4	△4
			土地再評価差額金	3,910	3,910
			為替換算調整勘定	85	98
			少数株主持分	—	29
			負債純資産合計	287,867	294,245

### 1 流動資産

営業キャッシュ・フローの改善などにより現金預金は増加しましたが、国内の事業量減少に伴う完成工事未収入金の減少により、前期末に比べ99億円減少しました。

### 2 有利子負債

通期計画810億円以下に変更はなく、引き続き削減に向けて取り組んでまいります。

●四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
<b>3 売上高</b>	<b>157,015</b>	<b>143,033</b>
完成工事高	150,856	137,034
開発事業等売上高	6,159	5,999
売上原価	146,356	132,475
完成工事原価	140,206	127,050
開発事業等売上原価	6,150	5,424
売上総利益	10,659	10,558
完成工事総利益	10,650	9,983
開発事業等総利益	8	574
<b>4 販売費及び一般管理費</b>	<b>9,133</b>	<b>7,700</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,525</b>	<b>2,858</b>
営業外収益	429	461
営業外費用	1,985	1,742
<b>経常利益(△損失)</b>	<b>△31</b>	<b>1,577</b>
特別利益	1,812	539
特別損失	3,953	232
税金等調整前四半期純利益(△損失)	△2,172	1,884
法人税、住民税及び事業税	154	851
法人税等調整額	△730	399
少数株主損益調整前四半期純利益	—	633
少数株主利益(△損失)	△1,442	6
<b>6 四半期純利益(△損失)</b>	<b>△153</b>	<b>627</b>

**3 売上高**

海外の売上高は増加しましたが、国内においては大型工事の竣工、公共投資の削減、民間設備投資の低迷が影響し、売上高は前年同期と比べ8.9%減少しました。

**4 販売費及び一般管理費**

人件費、管理可能費を圧縮したことにより、前年同期と比べて14億円減少しました。

**5 特別利益・特別損失**

前年同期は特別利益として有価証券売却益13億円、特別損失として貸倒引当金繰入額17億円などを計上しましたが、当第2四半期は特別利益5億円、特別損失2億円となり、特別損益は大きく改善しました。

**6 四半期純利益**

売上総利益は前年同期並みに推移しましたが、一般管理費の減少と、営業外損益、特別損益の改善により、四半期純利益は黒字転換しました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
<b>7 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,404</b>	<b>6,229</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,764	△3,823
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,885	3,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	488	166
現金及び現金同等物の増加額	3,735	6,496
現金及び現金同等物の期首残高	38,336	55,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,072	62,427

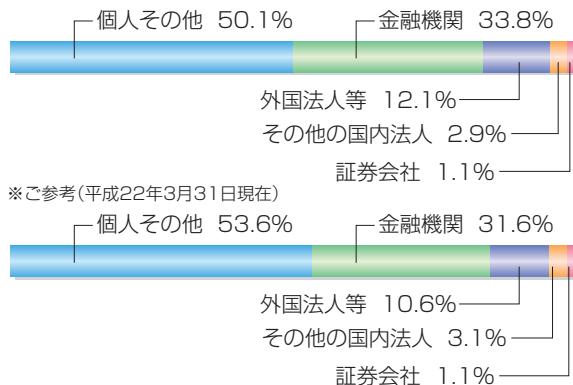
**7 営業活動によるキャッシュ・フロー**

税金等調整前四半期純利益が黒字転換したことや、完成工事未収入金などの売上債権が減少したことなどにより、62億円の収入超過となりました。

## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 599,135,000株  
 発行済株式の総数…………… 245,763,910株  
 株主数…………… 43,304名

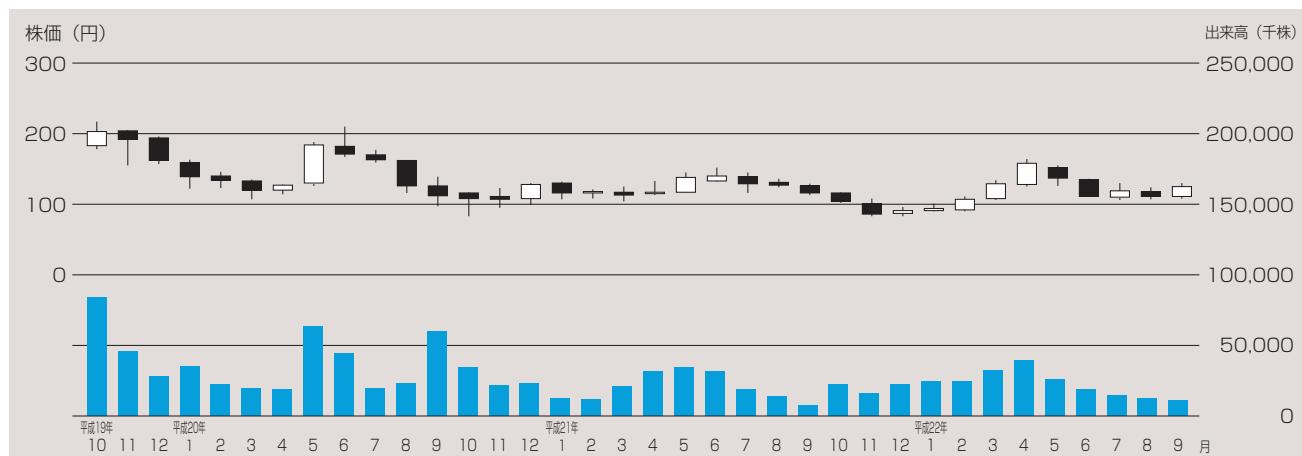
## 所有者別分布状況（株式数）



## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,978	5.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,174	3.3
株式会社みずほコーポレート銀行	7,059	2.9
明治安田生命保険相互会社	6,656	2.7
株式会社損害保険ジャパン	6,113	2.5
シービーエヌワイ ティエフエイ インターナショナル キャップ パリュウ ポートフォリオ	4,839	2.0
東京海上日動火災保険株式会社	3,934	1.6
五洋建設従業員持株会	3,707	1.5
みずほ信託銀行株式会社	3,470	1.4
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	3,091	1.3

## 株価および出来高の推移状況



# >>> 会社の概況

## 会社概要

(平成22年9月30日現在)

商号	五洋建設株式会社 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
設立	昭和25年4月28日
資本金	28,070,372,150円
従業員数	2,466人
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所
会計監査人	新日本有限責任監査法人
主な事業概要	当社は建設業法により特定建設業者(特-19)第1150号として国土交通大臣許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者(11)第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

## 主要事業所

(平成22年9月30日現在)

本店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3816-7111
札幌支店	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F	011-281-5411
東北支店	980-8605	宮城県仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル2F	022-221-0932
北陸支店	950-8501	新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F	025-246-1381
東京建築支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-7600
東京土木支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-8890
名古屋支店	460-8614	愛知県名古屋市中区錦3-2-1信愛ビル4F	052-961-6234
大阪支店	530-0012	大阪府大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田ビル新館4F	06-6486-2100
中国支店	730-8542	広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビューグランドタワー7F	082-511-7900
四国支店	790-0011	愛媛県松山市千舟町4-4-3松山MCビル	089-935-5755
九州支店	812-8614	福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル3F	092-475-5000
技術研究所	329-2746	栃木県那須塩原市四区町1534-1	0287-39-2100

## 海外事業所

シンガポール営業所	マレーシア営業所
香港営業所	エジプト営業所
インドネシア営業所	ベトナム営業所

## 取締役、監査役

(平成22年10月1日現在)

代表取締役社長	村重 芳雄
代表取締役	津田 映
取締役	井田 潔志
取締役	近藤 浩右
取締役	滝本 義久
取締役	山下 純男
取締役	佐々木邦彦
取締役	塩谷 慎
常勤監査役	川本 宏祐
常勤監査役	依 輝美
常勤監査役	黒川 薫
常勤監査役	笹野 真民
監査役	亀山 和則

## 執行役員

(平成22年10月1日現在)

※ 執行役員社長	村重 芳雄
※ 執行役員副社長	津田 映
※ 執行役員副社長	井田 潔志
※ 専務執行役員	近藤 浩右
常務執行役員	岡部 憲一
常務執行役員	中 伸好
常務執行役員	大内 久夫
常務執行役員	高野 一男
常務執行役員	原田 泰明
※ 常務執行役員	滝本 義久
常務執行役員	齋藤 雅文
※ 常務執行役員	山下 純男
常務執行役員	河内 政巳
常務執行役員	伊藤 峰夫
常務執行役員	柿本 泰二
執行役員	西村 清和
※ 執行役員	佐々木邦彦
執行役員	中山 信也
執行役員	荒木 正美
執行役員	中田 隆志
執行役員	長富 理
執行役員	都甲 明彦
執行役員	中澤 貴志
執行役員	小林 義和
執行役員	平林 修
執行役員	柳田 良一
執行役員	坪崎 裕幸
執行役員	清水 琢三
執行役員	清水 豊和
執行役員	宮園 猛
執行役員	下石 誠
執行役員	村山 正純
営業担当(兼)経営管理本部長(兼)安全品質環境担当(兼)国際事業本部長	
営業担当(兼)安全品質環境担当	
土木部門長(兼)土木部門土木営業本部長	
土木部門担当(兼)総合評価担当	
建築部門担当	
土木部門担当	
土木部門担当	
東京土木支店長	
安全品質環境本部長(兼)総合監査部担当	
建築部門担当	
建築部門長(兼)建築部門建築営業本部長(兼)購買部担当	
土木部門土木本部長(兼)安全品質環境担当(兼)技術研究所担当	
土木部門担当	
国際事業本部長	
東京建築支店副支店長	
経営管理本部副本部長(兼)CSR推進室長(兼)人事部担当	
建築部門都市開発本部長	
四国支店長	
札幌支店長	
中国支店長	
国際事業本部本部長(兼)シンガポール営業所長(兼)インドネシア営業所長	
大阪支店長	
建築部門担当	
土木部門担当	
東北支店長	
建築部門建築本部長(兼)安全品質環境担当	
名古屋支店長	
建築部門担当	
東京建築支店長	
九州支店長	
土木部門担当	

※印は取締役兼務者です。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催  
単元株式数 500株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のホームページ (<http://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
剰余金の配当の基準日 毎年3月31日  
証券コード 1893  
なお、中間配当制度は採用しておりません。

### 【単元未満株式の買取制度について】

単元未満株式とは、1単元（500株）に満たない1株から499株までの株式のことです。これらは株式市場で売買することができませんが、当社に対して買取請求をすることができます。

お手続き方法および用紙のご請求は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にお申し出ください。

#### ■（例）株主様が単元未満株式250株をご所有の場合



#### ■手数料の無料化について

従来、当社は単元未満株式の買取にあたり、株主様から一定の手数料をいただいていたのですが、2009年1月より無料化いたしました。

### 【特別口座から一般口座への振替手続きについて】

特別口座に記録されている株式を株式市場で売却すること、および特別口座から株式市場を通じて新たに株式を購入することはできません。

株式を株式市場で売買するためには、特別口座から一般口座への振替手続きを行う必要があります。

お手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にご確認ください。

#### ■振替手続き手順



## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

### 〈証券会社でお取引をされている株主様〉

■郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。

※未払配当金のお支払、支払明細発行につきましては、下記の「特別口座に記録されている株主様」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

### 〈特別口座に記録されている株主様〉

■郵便物送付先  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

■電話お問い合わせ先（フリーダイヤル）

**0120-288-324**

■お取扱店  
みずほ信託銀行株式会社  
全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店